

「日本型教育の海外展開」キックオフ・シンポジウム
(2016年8月2日、於・文部科学省)



「日本型教育」への期待 —なぜ海外展開が重要なのか—

東京大学大学院教育学研究科
准教授 北村 友人

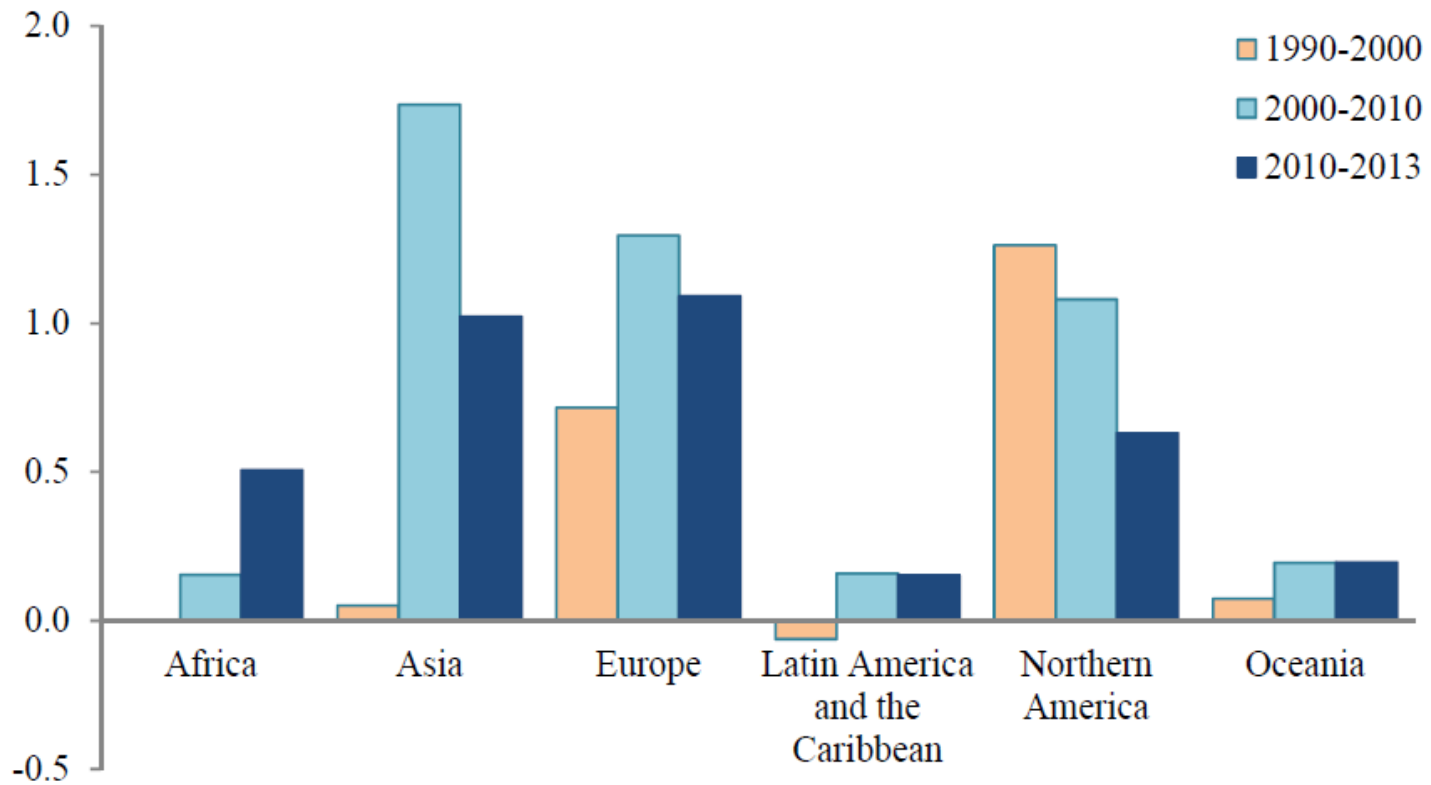
「日本型教育」の特徴・特長

- 高い基礎学力
- 協働的な学び
- 地理的・社会経済的な格差の小ささ
- 規律 (=均質性や規律は近年失われつつある・・・?)
- 教師たちの同僚性
- 特別活動
- 課外活動 等々...

⇒ **民主的な社会**の担い手となる**自立した「市民」**
を育てる

国境を超える人々の移動性

国際移住者数の年間平均変化（百万人）



Source : UN Population (2013), International Migration Reports.

<Presented by Dr. Gwan-Jo Kim, Director of UNESCO Bangkok at the University of Tokyo on December 10, 2015>

「海外展開」の意義

- 「合わせ鏡」として、海外の目を通して、自分たちの教育活動を見つめ直す
- 自分たちでは気づいていなくても、さまざまな教育実践のなかに、日本的な特徴・特長がある
 - ⇒ 海外との「交流」を通してこれらに気づく
- 「押し売り」ではない ⇒ 「良いもの(=特長)」を共有したい
- 教育「輸出」に対する批判
 - 「ニーズ」があるから輸出できる
 - 現地に「ニーズ」がないところには輸出できない
 - どのような「ニーズ」があるかを理解する
- 授業研究 = 各国の「ニーズ」にマッチした
 - 孤独な教師にとって「協働」することの意味

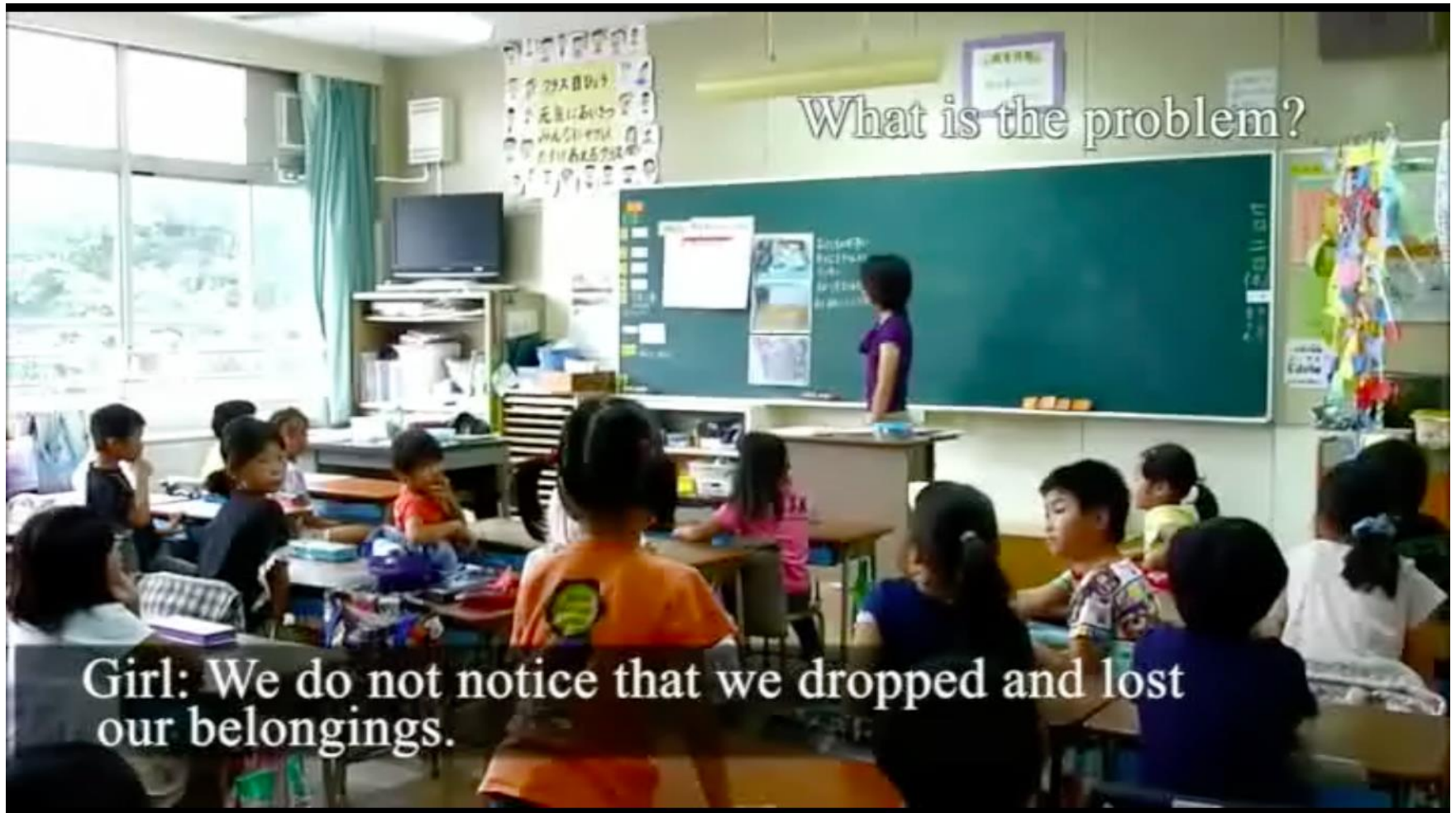
「海外展開」の意義

- その一方で「ニーズ」を作るための**仕掛け**も必要
 - 大使館、JICA、JETRO、国際交流基金、企業、NGO、等の連携
- **学校法人**の役割
 - すでに現状で上手くいっているから関心がない？
 - 自分たちにとってのメリットがみえない？
 - 余裕がない？
 - 日本型輸出よりも、グローバル教育の推進に関心がある？ 等々
- 自分たちの教育を**見つめ直すチャンス**だと捉える
- **Inside out, Outside in** や **Reverse innovation** の発想を生かす
- **日本型教育**も、**グローバル教育**も、根っこは一緒
 - 主体的な市民を育てるという目的は共有
 - そのアプローチとして、日本的なところに焦点をあてるのか、グローバルなところに焦点をあてているのか、という違い

学習観の変容

伝統的アプローチ	進歩的アプローチ
市民性に関する教育	市民性のための/市民性を通じた教育
社会秩序の再生産	変化への転換・適応
服従・追従 (conformity/compliance)	行動ならびに市民的社会参画 (action & civic engagement)
内容重視 (content-led)	過程重視 (process-led)
知識基盤型	原理基盤型 (principle-based)
講義による伝達	双方向的(interactive)アプローチ 批判的解釈
教師主導型アプローチ	生徒主導型アプローチ
試験中心型	全人的発達
教科書主導型の学習環境	マルチメディア活用型の学習環境
教科の知識	生涯学習のためのスキル
模倣	創造
近代的な教授法	未来志向の教授法

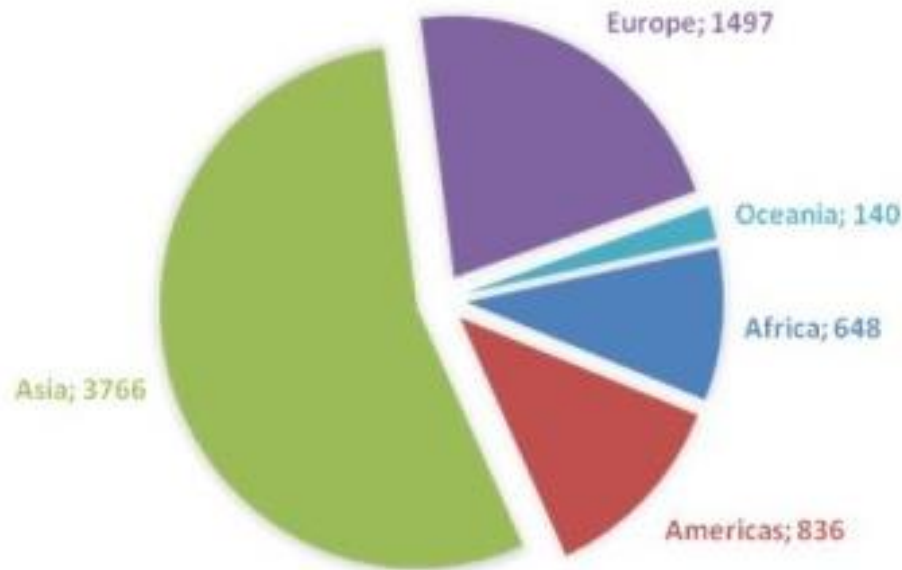
特別活動の本質



アジアのインターナショナル・スクール (International English-medium K-12 schools)

The five regions

NUMBER OF SCHOOLS IN EACH REGION

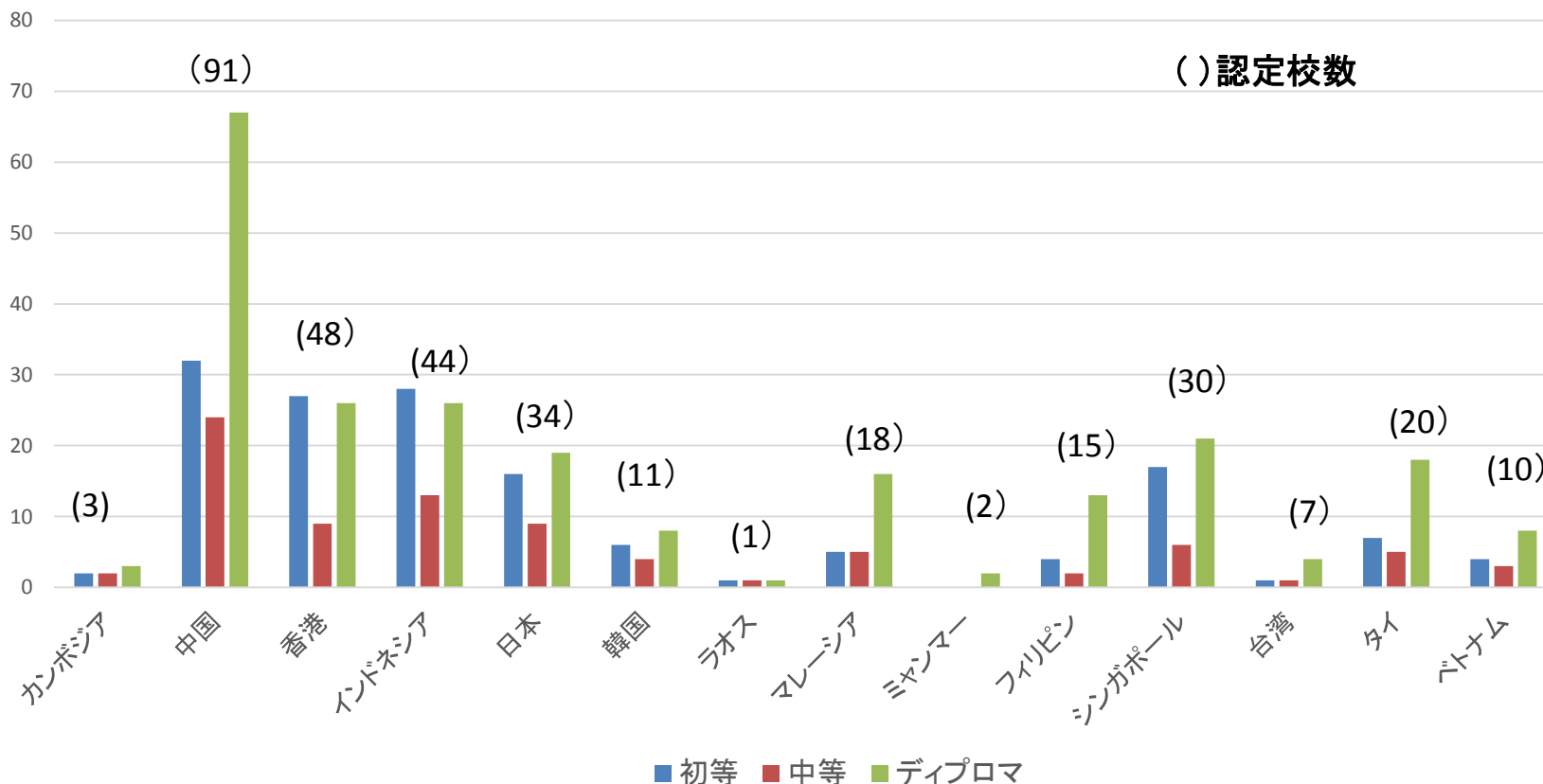


Number of international schools around the world. Source: ISC 2014

- ・全世界7017校のインターナショナルスクールに350万人が在籍(2013年、ISC統計)。
- ・全世界のインターナショナルスクールの54%がアジア(中東地域含む)に所在。
- ・アジアの11か国では、それぞれ100校以上のインターナショナルスクールが所在。

アジアにおける国際バカロレア

(2015年時点)



出典: IBOウェブサイト facts and figures (<http://www.ibo.org/en/about-the-ib/facts-and-figures/> [2015年6月15日閲覧]) をもとに作成

グローバル・シティズンシップ教育

多くの国が多民族・多言語・多宗教などにもとづく**多文化国家**となっている
→ 国民意識の涵養・国家への帰属意識育成が重要な教育目的のひとつ

それぞれの国に**固有の**
社会文化的な価値観を重視



国を越えた
普遍的な価値のあり方についても
理解を深める

普遍的≠西洋的

持続可能な開発のための教育 (ESD)



結びー「日本型教育」への期待ー

- 教育の目的 ⇒ 民主的な社会の担い手となる自立した「市民」を育てる
- それぞれの国・社会に適した教育のあり方を考える「手がかかり」としてのモデル(=「ニーズ」に応じる)
- 日本における自らの教育を充実させるためにも有効
- 国境を越えたLearning Communityの実現

ご清聴どうもありがとうございました。



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学大学院教育学研究科
准教授 北村 友人